

外来種は どんな影響をあたえるの？

世界各地で、外来種がさまざまな問題を引き起こしています。日本でも外来種の問題はとて深刻です。それではどのような問題が起きているのでしょうか？

生態系への影響

外来種(もともとその地域にいる生きもの)が追いやられるなど自然のバランスがくずれてしまうことがあります。

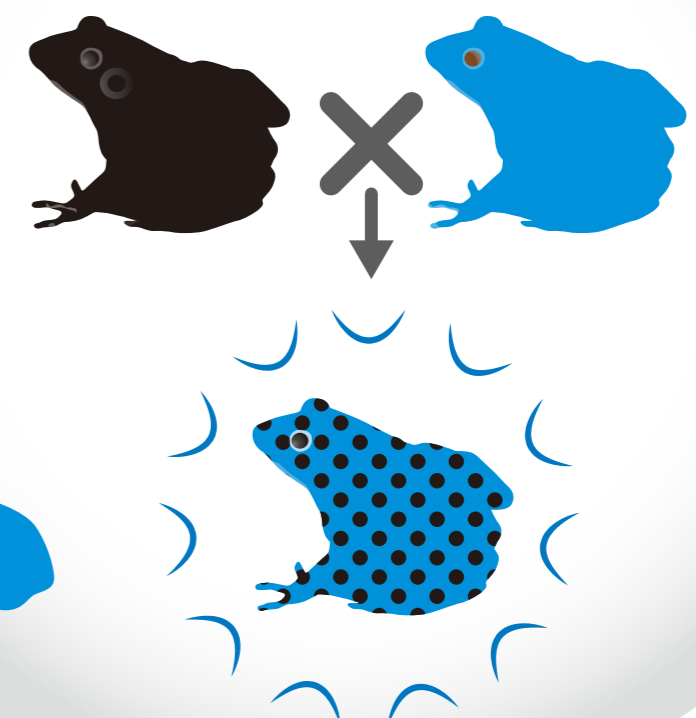
【捕食】 外来種をたべる



【競争】 外来種の生息・生育環境を奪ってしまったり、餌の奪い合いをする



【遺伝的攪乱】 近縁の外来種と交雑して雑種をつくる



農林水産業への影響

野菜や果物、漁業の対象となる生きもの(魚など)を食べたりして、私たちの生活に影響をあたえることがあります。

農林水産物を食べる



畑を踏み荒らす



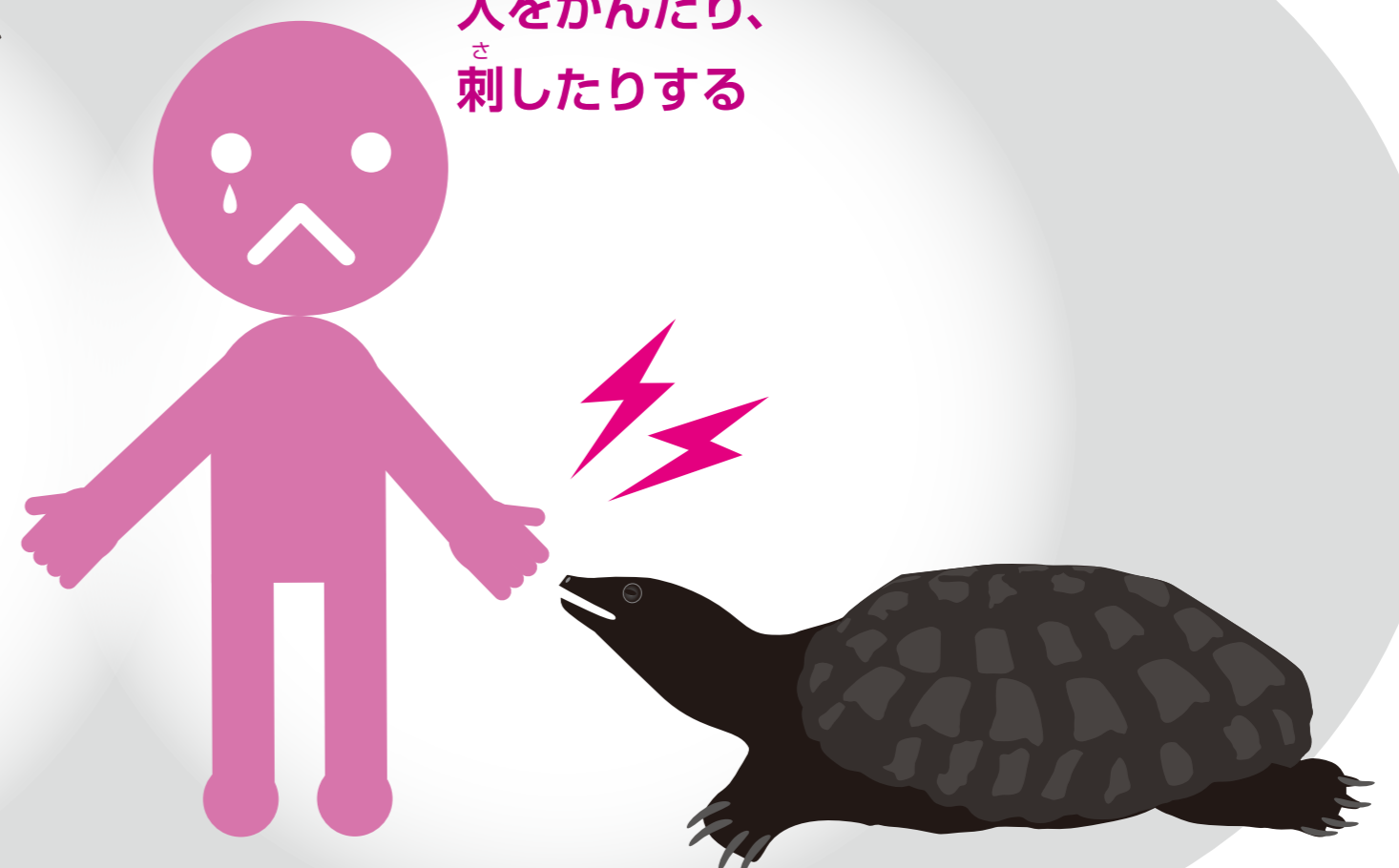
人の健康への影響

毒を持っていたり、かまれたりすることにより、私たちの健康に危険がおよぶことがあります。

毒を持っています危険



人をかんだり、刺したりする



コラム1

イネだって外来種?! 身近に利用されている外来種もある!

外来種による問題は、近代以降、国や地域をこえた人や物の動きが活発になることに伴い、深刻化しました。

現在、日本には海外から持ち込まれたものだけで2,000種以上の外来種がいるとされています。

ところで、実は私たちの主食であるお米、つまりイネももとをたせば縄文時代に日本に持ち込まれた外来種なのです。私たちの生活を見渡すと、野菜(トマト、トウモロコシなど)、家畜(牛や豚など)など、利用されている外来種はたくさんあります。私たちの社会の発展に大きく貢献したり、文化に浸透している外来種も多いのです。

